

平成28年度第2回江田島市総合教育会議 次第

日時：平成28年11月16日（水） 午後3時～

場所：江田島市役所 4階 403会議室

1 開会

2 議事

- (1) 議事録に署名する者の決定について
- (2) 協議第2号 平成29年度新規・拡充事業について
- (3) その他

3 閉会

平成28年度第2回江田島市総合教育会議 構成員等名簿

○ 構成員

職 名	氏 名
市長	田 中 達 美
教育委員会委員長	三 島 雅 司
教育委員会委員長職務代理者	樋 上 美由紀
教育委員会委員	柳 川 政 憲
教育委員会委員	今 井 絵里子
教育委員会教育長	塚 田 秀 也

○ 関係者（教育委員会事務局）

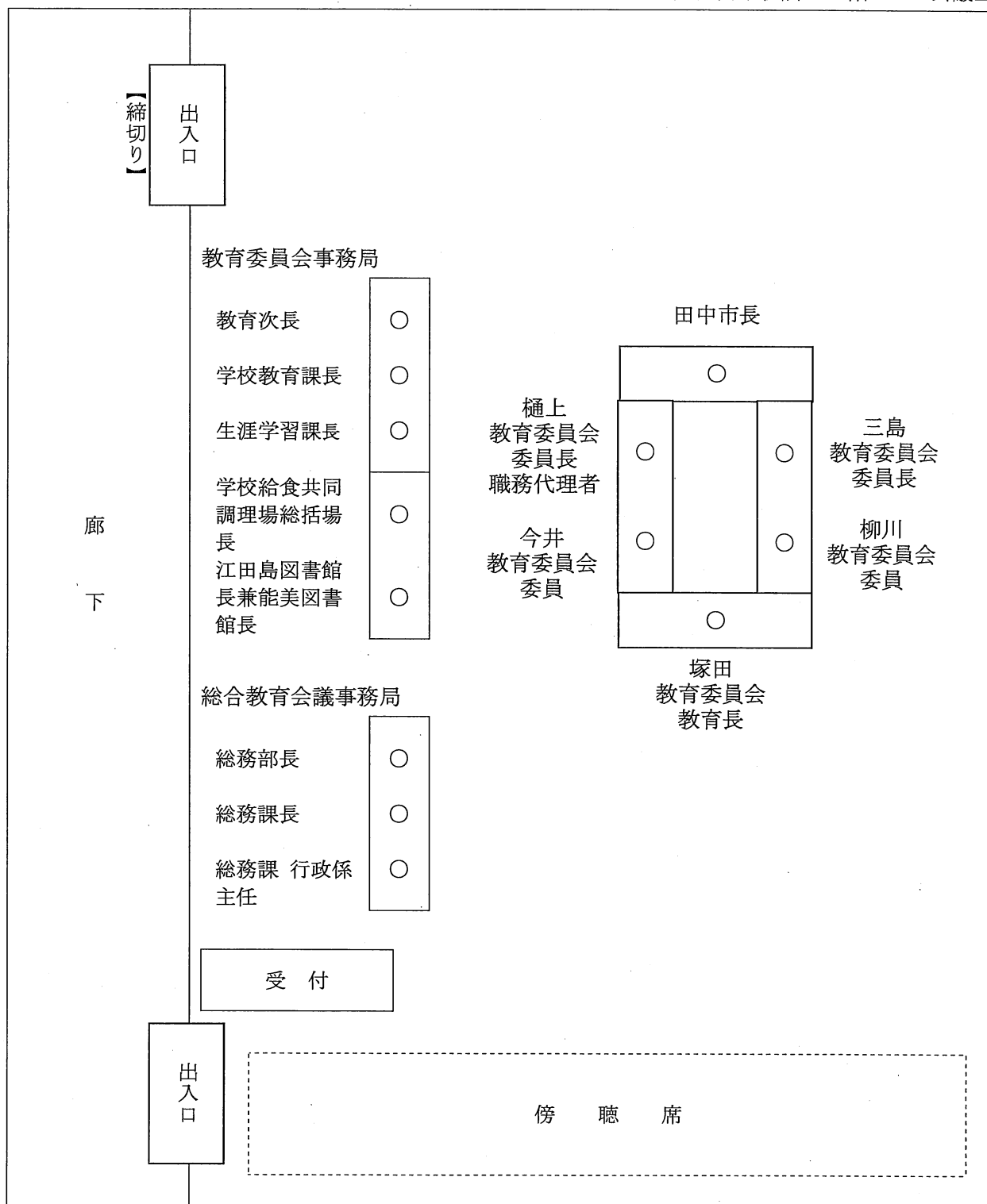
職 名	氏 名
教育次長	小 栗 賢
学校教育課長	畠 藤 邦 子
生涯学習課長	仁 井 雄 一
学校給食共同調理場総括場長	森 脇 正 明
江田島図書館長兼能美図書館長	木 場 久仁子

○ 総合教育会議事務局

職 名	氏 名
総務部長	山 本 修 司
総務課長	山 井 法 男
総務課 行政係 主任	山 崎 充 宏

平成 28 年度第 2 回江田島市総合教育会議 配席表

江田島市役所 4 階 403 会議室



協議第2号

平成29年度新規・拡充事業について

平成28年11月16日提出

江田島市教育委員会教育長 塚田 秀也

提 案 理 由

平成29年度当初予算の編成を迎えるに当たり、教育委員会の権限に属する事務に関して協議する必要があるので、会議の意見を求める。

平成 29 年度拡充事業「ICT活用事業」について

1 事業を実施する理由

(1) 児童生徒の学力向上

授業で ICT 機器を効果的に活用することにより、各教科等の目標を達成する。

ア 広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果（江田島市と広島県の差）

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
小学校 5 年	国語	▲1.1	+6.3	+2.1	+5.3
	算数	+1.2	+6.8	+1.6	+5.1
	理科	+2.1	+5.2	+0.9	+5.2
中学校 2 年	国語	+0.4	+2.3	▲1.4	+6.9
	数学	+3.6	+4.3	+0.5	+3.8
	理科	+2.7	▲0.3	▲1.5	+0.2
	英語	▲4.8	▲0.7	▲1.8	+5.3

イ 第 2 期教育振興基本計画（H25～H29）

基本施策 25 良好で質の高い学びを実現する教育環境の整備

○ 教育用コンピュータ 1 台当たりの児童生徒数 3.6 人（※）

※ 各学校に、①コンピュータ教室 40 台、②各普通教室 1 台、特別教室 6 台、③設置場所を限定しない可動式コンピュータ 40 台を整備することを目標として算出

○ 教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備

○ 超高速インターネット接続及び無線 LAN 整備率 100%

ウ 次期学習指導要領での位置付け

条件整備として、ICT の環境整備を進める必要がある。現在では、社会生活の中で ICT を日常的に活用することが当たり前の世の中となっており、子供たちが社会で生きていくために必要な資質・能力を育むためには、学校の生活や学習においても日常的に ICT を活用できる環境を整備していくことが不可欠である。

（「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ（案）〔平成 28 年 8 月 19 日〕」から）

エ 教員の ICT 活用指導力

研修受講率（文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」から）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
全 国	31.0%	34.7%	38.3%
江田島市	10.2%	8.2%	36.8%

オ 文教厚生常任委員会による ICT 教育推進の要請

平成 27 年度に小中学校 2 校を訪問し、ICT 機器を活用した授業を見学。

(2) 教員の業務改善

校務で ICT 機器を効果的に活用することにより、教員の事務負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保する。

文部科学省「教員勤務実態調査（平成 18 年度）」結果

教員の残業時間は月約 34 時間と昭和 41 年度と同調査の月約 8 時間と比較して大きく増加しており、学校の負担が増し、教職員の多忙化が進行している。

広島県教育委員会「業務改善プロジェクト・チーム（平成 23 年 1 月～）」設置

県内の業務改善モデル校

平成 27 年度：62 校〔中 28、高 33、特支 1〕本市：大柿中

平成 28 年度：130 校〔小 28、中 48、高 53、特支 1〕本市：大柿中、江田島小、江田島中

2 事業の内容

	項目	概算（平成 29 年度）
児童生徒の学力向上	<p>【継続】小・中学校各 1 校ずつを指定し、デジタルペン 80 本及びタブレット 18 台（小 7 台，中 11 台）の環境で研究を継続させる。 ※平成 26 年度から 5 年間リースで、タブレット計 45 台がある。このうち、タブレット 18 台を使用する。</p>	<p>機器リース料 デジタルペンリース料（タブレットは現在リースのものを活用する） 575,424 円（2 校分） （5 年リースのうち 1 年分）</p>
	<p>【新規】2 校に無線 LAN 環境を導入する。</p>	<p>工事請負費 大柿中 4,009,478 円 中町小 2,406,566 円 計 6,416,044 円</p>
	<p>【継続】学校職員の ICT 活用指導力を向上させるため、市教委主催研修・校内研修を開催する。</p>	<p>なし （県立教育センターのサテライト研修を活用）</p>
	<p>【継続】市教委職員及び学校教員が、先進校を視察する。</p>	<p>特別旅費 715,000 円（13 人分） （1 人分 55,000 円）</p>
教員の業務改善	<p>【新規】全小中学校に「校務支援システム」を導入する。</p>	<p>機器リース料 7,196,688 円（11 校分） （5 年リースのうち 1 年分）</p>
	合計	14,903,156 円

平成 29 年度拡充事業「外国語指導事業」について

1 事業を実施する理由

児童生徒の英語力の向上

ア 広島県「基礎・基本」定着状況調査（中学校英語）の結果（江田島市と広島県の差）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
平均通過率	▲4.8	▲0.7	▲1.8	+5.3
質問「英語が好き」	▲8.7	▲8.1	+4.5	+7.7

イ 学習指導要領での位置付け

	小学校 3・4 年	小学校 5・6 年	中学校各学年
現行学習指導要領		外国語活動 (週 1h)	英語科 (週 4h)
次期学習指導要領 (小 H32～, 中 H33～)	外国語活動 (週 1h 程度)	英語科 (週 2h 程度)	英語科 (未定)

ウ 第 2 期教育振興基本計画（教育基本法に基づき政府が策定する総合計画。H25～H29）

国際共通語としての英語力の向上

英語力の目標（中学校卒業段階：英検 3 級程度以上，高等学校卒業段階：英検準 2 級程度～2 級程度以上）を達成した中高校生の割合 50%

※ 江田島市の中学生の英検 3 級以上合格した者の割合は，平成 26 年度は 11%（51 人 / 461 人），平成 27 年度は 12%（55 人 / 456 人）。

※ 江田島市の中学生の英検の合格者数

	5 級	4 級	3 級	準 2 級
平成 26 年度	30	34	45	6
平成 27 年度	28	32	46	9
平成 28 年度 (第 1 回のみ)	7	13	15	2

2 事業の内容

項目	概算（平成 29 年度）
外国語指導助手（ALT）を 1 人加え，計 3 人配置とする。※平成 28 年度までは 2 人配置。	外国語指導業務委託 14,968,800 円（3 人分）
中学生の英語検定の受検者に対して，受検料を全額助成する。 ※他市町の補助状況 別紙	英語検定費用助成金 735,000 円 〔 4 級 2,100 円×150 人 〕 〔 3 級 2,800 円×150 人 〕
江田島市中学校教育研究会の英語部会が主催するイングリッシュ・キャンプに外国語指導助手（ALT）を派遣する。	外国語指導業務委託に含む。
	15,703,800 円

平成 29 年度継続事業「中学校エアコン設置事業」について

1 事業を実施する理由

快適な学習環境の整備

近年の温暖化等による猛暑により、学習環境の悪化が懸念されている。市内小中学校の普通教室及び特別支援学級教室にエアコンを設置し、快適な学習環境を整える。

- (1) 学校環境衛生基準（学校保健安全法に基づく文部科学省告示）における教室等の温度の基準「10℃以上、30℃以下であることが望ましい。」

（〔改訂版〕学校環境衛生管理マニュアル「児童生徒等に生理的、心理的に負担をかける最も学習に望ましい条件は、冬期で18～20℃、夏期で25～28℃程度である。」）

※平成 27 年 7 月～9 月における中学校の室温調査【（ ）内は呉特別地域気象観測所の記録】

	7 月	8 月	9 月
平均室温（度）	2 9 (25.7)	3 3 (26.9)	2 8 (28.0)
最高室温（度）	3 4 (34.3)	3 7 (34.9)	3 1 (28.7)
最低室温（度）	2 5 (18.6)	2 5 (20.6)	2 1 (17.1)

- (2) 近隣市町の普通教室及び特別支援学級教室への設置状況（H28.10 現在）・・・**別紙 1**

西部教育事務所管内の設置済み市町は、1 市 2 町。

呉市は、中学校は 28 年度設計、29 年度で工事予定、小学校は 29 年度設計予定。

広島市は小中学校の普通教室・特別支援学級教室・音楽室・図書室・PC 室は一部を除いて、設置済み。他の特別教室について、今後順次整備予定。

- (3) 市内小中学校エアコン設置状況（平成 28 年 10 月現在）・・・**別紙 2**

平成 28 年度には、江田島中学校及び能美中学校の普通教室・特別支援学級教室に設置した。

その他の学校の普通教室には、エアコンは設置されていない。特別支援学級教室には設置されている学校はある。職員室、校長室、保健室、パソコン教室は全校設置されている。

- (4) 中学校校長会の意見（H27.12 聞取）

4 人の総意「是非とも設置していただきたい」

エアコン設置中学校で勤務した校長の意見「設置前より生徒が落ち着いた。断然つけたほうがよい」、「気温が高いときだけでなく、湿度が高いときも有効」、「集中管理がよい。消し忘れも確認できる」

2 事業の内容

項目	概算（平成 29 年度）
大柿中学校の普通教室及び特別支援学級教室の設置 工事を行う。	工事請負費 大柿中学校 34,219,800 円。

※江田島市立小・中学校のエアコン設置計画については、**別紙 3**のとおり。

平成 29 年度新規事業「ふるさと再発見事業（仮称）」について

1 現状

江田島市には数多くの歴史遺産が存在するが、十分に生かされていない。また、人口減少や高齢化の進展等に伴い、懐かしい風景をはじめとする地域の歴史資料が継承されることなく失われていくことが懸念される。

2 事業の目的

第2次江田島市総合計画に掲げる、「伝統文化・文化財の保存」に基づき事業を計画する。

- (1) 子どもから大人までの幅広い年齢層に対し、「歴史」をキーワードとしてふるさとに再度目を向けてもらい、ふるさとの良さを再発見してもらう機会を提供する。
- (2) 現在、政策推進課で運用中の統合型 GIS 上において、文化財等の種類や場所に関するレイヤを構築し、文化財の適切な保存・管理を行う。レイヤは他の部署でも利用できるため、各部署との情報共有と緊密な連携が可能となる。
- (3) 歴史の記憶（記録）である古写真を収集し、適切に管理するとともに効果的な活用を図る。

3 事業内容

事業の目的	項目	内 容	概算経費 (H29年度)
(1)	市文化財パンフレットの刷新	「江田島市の文化財（平成 19 年 1 月発行）」を刷新する。（業者委託） ※〔 H29 現地踏査等の情報収集及び整理 H30 パンフレット作成	3,000 千円
	ふるさとの偉人紹介	平成 29 年に生誕 150 周年を迎える、大柿町出身の漆芸家「六角紫水」氏に関する企画展を実施する。（広島県所蔵品借受展示及びセミナー等） ※芸術文化振興基金助成申請予定（補助率 1/2）	1,900 千円
(2)	文化財等情報のデジタル管理	平成 29 年度に更新が予定されている統合型 GIS 上に、文化財等関連情報を管理するためのレイヤ等を作成する。（業者委託）	500 千円
(3)	古写真の収集と活用	市民などから江田島市の古写真を収集し、デジタル化等により保存する。 また、収集した古写真は、ふるさと学習事業などで活用し、広く市民に公開する。	500 千円
計			5,900 千円